



発行者:大阪中央労働基準監督署 安全衛生課

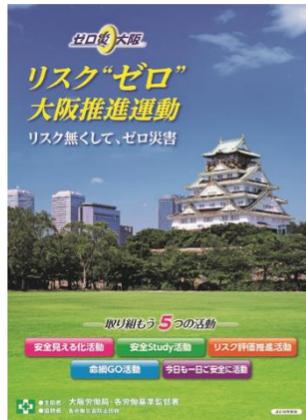
今日も笑顔で帰るために

建設現場や工場などで広く挨拶に用いられる「ご安全に」の由来は、ドイツの炭鉱夫たちの間で使われていた「ご無事で」という挨拶が由来とされています。

当署では第三次産業の災害が全体の約7割を占めています。

「私はケガをせず無事に帰宅します・私は仲間の作業の安全を確認します」の意味合いを含めて、「ご安全に」の挨拶を

交わし、第三次産業の店舗・施設内等における労働災害の防止に努めてまいりましょう。



さあ、今日も一日
ご安全に！！

エイジアクション 100

高齢労働者の労働災害の防止に向けての取組が喫緊の課題となっています。

我が国においては、少子・高齢化の

進展に伴って、生涯現役社会の

実現が求められており、高齢

労働者のこれまでに蓄積した

知識や経験等を活かし、

積極的に活躍できる機会を

提供して、戦力として活用できる

ようにすることが必要な時代にな

っています。

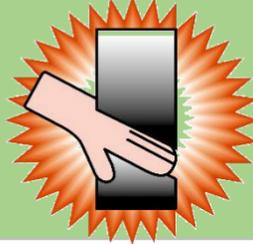


災害統計より

全産業で

前年同期比

2.0%減少



令和元年8月末現在における大阪中央労働基準監督署管内での休業4日以上の災害は全産業で590件。(速報値)

前年同期比2.0%の減少。

業種別の前年同期比では製造業10.3%増加、建設業3.6%減少、運輸業10.3%減、第三次産業1.5%増加。

今年もあと3か月、災害や長時間労働をなくし今日も笑顔で帰ろう。

治療と仕事の両立支援



それまで健康だった人が病気にかかり治療が必要になると、以前の通りには働けなくなるケースが出てきます。その場合、治療に専念するか、あるいは、治療しながら働くかはケースバイケース。また、治療期間は疾病の種類などによって長さが異なります。

働きながら治療をしたい人にとっては、それらをいかにして両立させるかは大きな問題であり支援が必要です。

職場のあんぜんサイトご案内



厚生労働省では、「職場のあんぜんサイト」を開設し、労働安全衛生の有効な情報等を発信しています。安全衛生情報の提供を通じて、広く国民が労働安全衛生に対する関心を高め、事業場の安全衛生活動を応援します。事業場における安全衛生活動にご活用ください。

災害の三分の1が転倒災害

(女性は2人に1人)

転倒危険！



当署で年間に発生する労働災害のうち3分の1が転倒災害。

男性は22.6%、女性は48.3%の割合で女性はほぼ2人に1人が転倒により被災しています。

転倒災害を撲滅するため「STOP 転倒災害プロジェクト」を推進しています。

職場の転倒災害防止対策を進めていただくとともに、適時にチェックリストを活用した総点検を行い、職場環境の改善を図っていきましょう。

安全四方山話

転ばぬ先の杖(ころつえ)

こ・転ばない

ろ・労働環境

つ・創りあげ

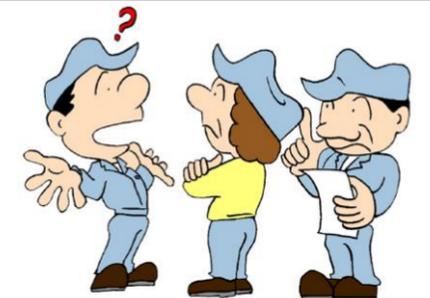
え・笑顔で帰宅



コロちゃん

物事を始めるときや行動するときに失敗しないように、万が一に備えてあらかじめ十分な準備や装備をしておくことのとえ。転んでしまったからあわてて杖を用意しても意味ないことから、事前に用心して手に杖を持っておくこと。ご用心 ご用心。

外国人労働者への安全配慮を



近年、外国人労働者の増加に伴い外国人労働者の労働災害が毎年2000件を超えて発生しています。労働習慣の違いや言語の理解不足によるものが多くみられます。安全衛生教育では母国語での説明や図解等で工夫するなどルールをしっかりと理解してもらいましょう。